

TTC標準
Standard

JF-IETF-RFC3550

RTP:リアルタイムアプリケーションの
ためのトランスポートプロトコル

RTP: A Transport Protocol for
Real-Time Applications

第 1 版

2018 年 8 月 29 日制定

一般社団法人

情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE



本書は、（一社）情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を（一社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目次

<参考>	4
1. 標準の概要	5
2. 本標準で規定する内容	5

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、IETF において制定された RFC 3550 に準拠している。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1. オプション選択項目

特になし

2.2. ナショナルマター項目

特になし

2.3. 原標準に対する変更項目

特になし

3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第1版	2018年8月29日	制定

4. 工業所有権

TTC の「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTC ホームページで公開されている。

5. その他

(1) 参照する主な勧告、標準

IETF RFC: RFC 791, RFC 1034, RFC 1035, RFC 1123, RFC 1305, RFC 2119, RFC 2279, RFC 2822, RFC 3551

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元である IETF RFC によっている。

具体的な規定内容は RFC を参照する必要がある。

6. 標準作成部門

信号制御専門委員会

1. 標準の概要

本書はリアルタイムトランスポートプロトコルである RTP を規定する。RTP はマルチキャスト、及びユニキャストのネットワークサービス上でオーディオ、ビデオ、シミュレーションデータなどのリアルタイムデータを送信するアプリケーションに適したエンド-エンド間のネットワークトランスポート機能を提供する。RTP はリソース予約を実施せず、リアルタイムサービスのサービス品質を保証しない。大規模マルチキャストネットワークのデータ配信をスケーラブルな方法で監視可能とし、最小限の制御機能と識別機能を提供するために、データ転送は制御プロトコル (RTCP) により拡張される。RTP と RTCP は下層トランスポートとネットワーク層について、独立したデザインとなっている。このプロトコルは、RTP レベルのトランスレータ、及びミキサをサポートする。

本書の大部分は RFC 1889 と同一であり、RFC 1889 を廃止する。送信されるパケットフォーマットに変更はなく、プロトコルの用法管理アルゴリズムとルールのみ変更している。最も大きな変更点は、一つのセッションに多くの参加者が同時に参加する際において、意図したレートを超えるような送信を最小限に抑えるために、RTCP パケットを送信するタイミングを計算するスケーラブルタイマアルゴリズムを強化した点である。

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は以下の IETF RFC による。

IETF RFC3550: 「RTP: A Transport Protocol for Real-Time Applications」